

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月30日

都道府県知事
(市長) 兵庫県知事殿

提出者 株式会社アサヒペン 兵庫工場
住 所 兵庫県加東市新定字木谷275-4
氏 名 兵庫工場長 澤田 耕吾
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0795-46-1271

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 アサヒペン兵庫工場
事業場の所在地	兵庫県加東市新定字木谷275-43
計画期間	平成25年4月1日から平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	1644 塗料製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 558,110万円 (平成25年度実績)
③ 従業員数	55名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙のとおり		
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（平成 25年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油
	排 出 量	68.24 t t
	(これまでに実施した取組) ・ 返品、不良品の再生品化 ・ 洗浄に使用した溶剤の再使用 ・ 溶剤再生装置の導入	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油
	排 出 量	50 t t
	(今後実施する予定の取組) ・ 溶剤再生装置による再生溶剤の優先的使用 ・ 返品再生システム化体制による返品の再生 ・ 引火性廃油の有価処分を目指す	
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 引火性廃油とPCB汚染物に分別	
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 今後も引火性廃油とPCB汚染物として分別保管推進	

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

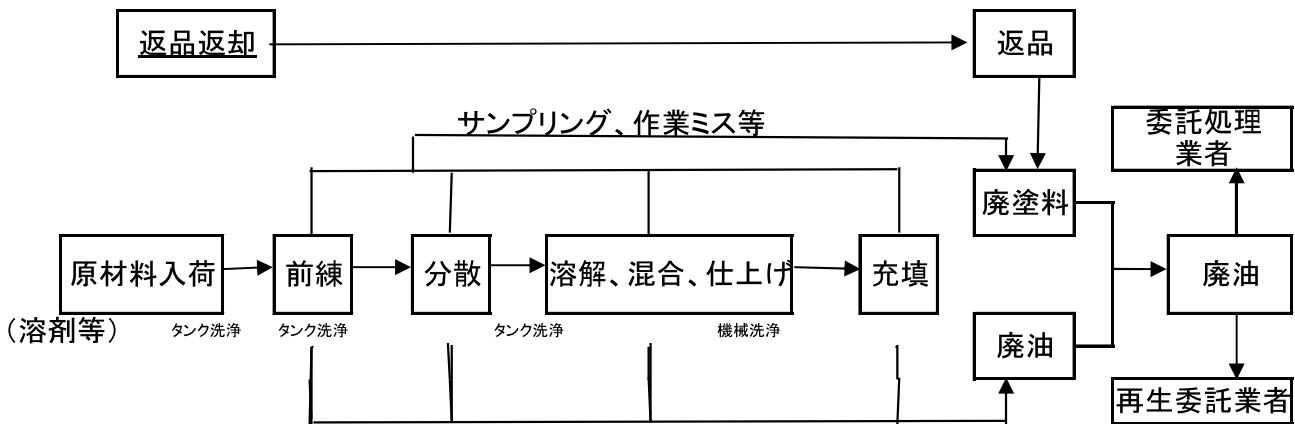
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 24年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	全処理委託量	68.24 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	56.48 t	t
	再生利用業者への処理委託量	11.76 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 優良認定処理業者への選定委託やセメント焼成用補助燃料などへの有効利用業者への委託等		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	
	全処理委託量	68.24 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	68.24 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 優良認定業者への委託 ・ セメント焼成用補助燃料などの有効利用業者への委託 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

1. 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程
塗料製造・廃棄物発生・処理フロー図

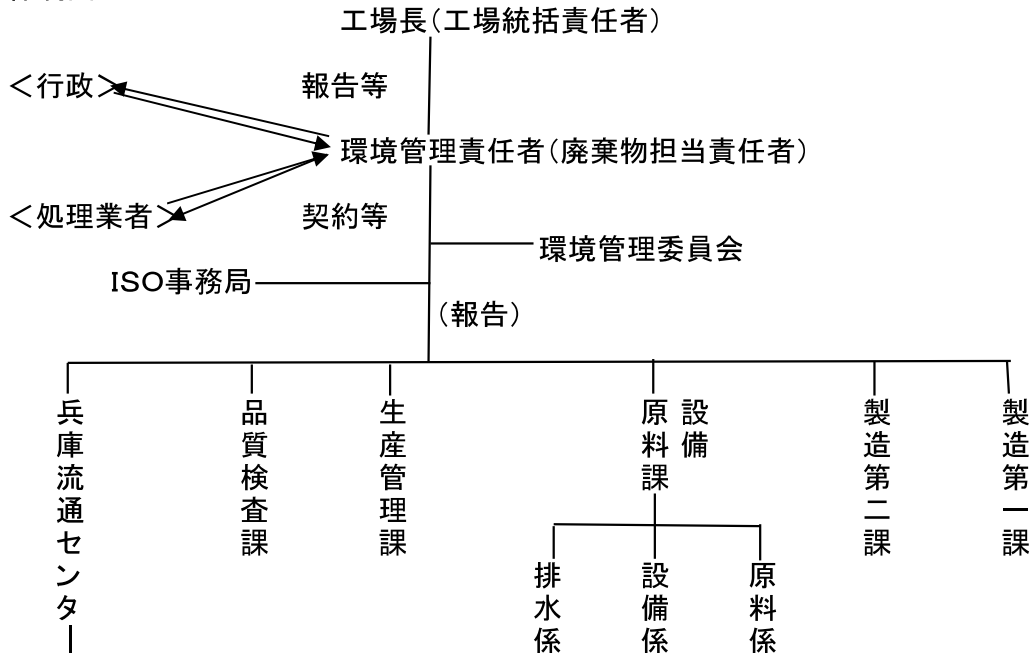


※廃油

- ① 収集運搬 (委託:RTT)→燃料化(委託:リマテック)→補助燃料として販売
- ② 収集運搬 (委託:尼崎ドラム缶工業)→燃料化(委託:ダイセキ)→補助燃料として販売
- ③ 収集運搬 (委託:日生運輸)→燃料化(委託:リマテック)→補助燃料として販売
- ④ 収集運搬 (委託:公協産業)→乳化(委託:巴興業)→再生油として販売
- ⑤ 収集運搬 (委託:利昌)→燃料化(委託:アミタ)→補助燃料として販売
- ⑥ 収集運搬 (委託:ウェルフェア)→焼却(委託:西播商事)→焼却残渣は管理型処分に埋め立て処分(大阪湾広域臨海環境整備センター)

2. 特別管理産業廃棄物

管理体制図



※ 環境管理責任者(ISO事務局)

- ・ 工場内のマテリアルフローの把握
 - ・ 部署間の調整、行政への報告
 - ・ 処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き
 - ・ 工場内の他部署への関係法令等の教育、啓発、指導監督
- 製造部、品質検査課、兵庫流センター(担当):全部署
- ・ 部署内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管場所への運搬
 - ・ 部署内従業員への分別方法等の徹底